倣游文庫

三十五

28

明文庫

へ 5
1139
28

28
へ5
1139
28

三指の所仙

笠ぬぎてもてもしよ岩の月　法師宗鑑

芋の葉の捨よなく〜なれ時雨　守武

眼〜もそれやさくらの立よ雪の色　長頭丸

吹雪見しあとの色哉　重一

ねさしてて三日さくらの不二の山　惟弁

先知らぬ人の玄関の雪　生菊

涼されぬ月の影の月　真宣

傷し立花や雪の二月　正成

雪ぬぎ〜ハ五月さうの雪の色　玉札

裏指の表ぬぎとも芋の菴　梅宋

[illegible]

[illegible]　　幸和

[illegible]　　宗因

[illegible]　　之順

[illegible]　　常雄

[illegible]　　和好

[illegible]　　芭蕉

[illegible]　　秋夜

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　信徳

太皷（カゴ）証歌や寺や山さくら　秋家

稲妻やさっと来合の雨　雲角

流れ[illegible]の石[illegible]の[illegible]の[illegible]　一鉄

[illegible]雪の夕　一晶

[illegible]雪もいさる[illegible]　其角

[illegible]月[illegible]　[illegible]

[illegible]身や[illegible]　都乃

[illegible]身や[illegible]附[illegible]　之志

[illegible]　　[illegible]

門[illegible]　　松濤

[illegible]男[illegible]生れ[illegible]　来山

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]や　土芳

色こき花菜一色や　柳子

[illegible]し　鬼貫

[illegible]の雪　風子

[illegible]の月　蕉左

湖の[illegible]りの月　土芳

乃楽集も余花の御とぶらひ[illegible]

[illegible]　[illegible]の[illegible]

[illegible]書墨　[illegible]

四時國　[illegible]

三月小西井出[illegible]

如是僧や新[illegible]れし春日　彩

さくらや富士の[illegible]　[illegible]

春景[illegible]　[illegible]の[illegible]

生死去来　[illegible]

牧柱や[illegible]の[illegible]

旅宿　[illegible]の蠅[illegible]

淺野川　[illegible]人数[illegible]

韓[illegible]の[illegible]　[illegible]舟[illegible]

日数[illegible]　十八乃[illegible]

[illegible]や[illegible]

[illegible]の[illegible]　月[illegible]

七夜行を
もとの文あり

十五日〜場のこと出でぬ今日はうく
敦賀の港は日本海の中にあり
花も葉もしげりて夜の蛙の聲
三巡の
酒とあり儀の義の蛙の聲
手稲山や稲荷山より出でもしも
二月廿日行を懸
戒徴和名抄
蛙寸
古寺や法華経ならん祈らん
旅行
加賀能登に渡りく山路の蛙三巡の中
風や勢田の小橋の蛙
庫山やこゝろ人のさめぬ間
七夜個吹
春よりこゝろ行る水も行く春川

目もとゞまるこゝろ出でぬ中の宮世我
国防風八方ある人〜を国事
めて〜板倉屋と中山道氏の才〜りやけなる義技推ひめて
世を捷〜青葉の蛙を拾ひ見
片手打ち〜ある中折を幸のものとて
忠度と所〜中折ひ〜中
名もこゝろ〜〜〜射〜て
岩とゝよ強の〜〜〜蛙我
射友
門義の古〜と〜〜宮の梅
〜〜〜

[illegible]

[illegible]

小幡山

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八[illegible]

せの中と[illegible]

[illegible]仙のゆ[illegible]

[illegible]の[illegible]

枯芦や[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かくゆとられバ如何ではるとてもそ

雖然のゝ梅も花ゝ梅のなて存

[illegible]の肖像を
芳翁のかきたる 菊の花よかしらたきて氣に
ゐるよくよ

金谷庵のものやゝ顧もたるつゝ

[illegible]八月歌
[illegible]根ゐ

ちくこれ人のあれいこそ[illegible]所
ゆよりと信こそこれ[illegible]

[illegible]

貞角乃金華 [illegible]本信

秋の風秋風と為て云うつ

雨蒲く花の梅の[illegible]

京の月丸山なるまのるより

[illegible]こゝみ月中[illegible]の光

塔のちく[illegible]

[illegible]

[illegible]

若所ゝ打始　雲の住年の春
等のあはれ　ふるしの住る庵
伊豆の海　ゆやゝ人を盗ぬ文付日
月ゆみ庵ぬを著東坂まをすもと
学和哥をこゝろ　ゆやゝ免貴
又雪花　毛園庵とゆりの義之み書れ
客中　ある人　年ゝ　ゆ　ゆ
夜人の物言
のひとみ　物思海のゆりかゝ祈　免
歌あはせたる本を　の種と似たるもの
石大兵庵
小序

檀紙の帷子を蛙の歌袋と号奉る
題を捨て　くゝ歌人の風俗を
々耳底ゆゝ　ゆるしのかゝ　京俳諧
俗ゝ人を　を見かゝ　京蕉翁
の乃ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
情ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
探ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
一冊　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

とまりて耳よりふれ聞よ青たる
田の中うえもりくらりの蔭に　春宮
岩蔭やうつもとてこそ
もれ月の雲ちとこそ
見くるとこそ
雲揚い雨も消ぬ
十六夜や一枝のもとに
ちりもせぬ
養笠もさそふてしやれの
戸口ふく
松山にて月見ぬ十三夜

振舞やあつもとあつもの
雨もつゆ集めの
雲の
天の川ふとこそあれ
ふるれの
岩の橋木の
雲の世や
うつ
笠よ高
雨とよやきの
折ふや

卯月

松ゝゆとりはて柳のはるかに
さゝ〻くの名も長き秋のてて　横堂

七月

ふくてふもぬるゝこもるる戸に
竹のはゝ久しきあるを秋とたる　西陵
野に秋の暑さをしのぶ海の風
稲つゝみ秋はいかぬ夏の蛍
竹の虫ゝ鳴てもうこく夏の秋
みな草の中ゝゝ見ゆる糸瓜
を秋や老てのはの面白
一五九十日の法ゝ会験たり　一茶丸

新蕎麦の秋の男ゝ神
秋あり月よりも梅の花ゝ
この虫ゝ鳴ゝ出る巣の日和の秋
墓の蕎麦名人ゝゝやはり居の月
秋日和みゝも柳のまゝ
鶏頭や行倒ゝの秋の風
弧秋もてるゝ長たる秋のゝゝ
月の別の秋ゝ引せる時ゝの秋
川ゝたゝゝさゝ出たゝ本性
蕎麦ゝゝゝ秋ゝ見の世の
ふるたゝゝ山や里の巣時秋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二枝の人も爲ちられたの
つさくられよ明るまあ〻はれ作る
明るあの了もたるあびく情の
連も引せるあ白の有のあく
影ゆや星まつつのふ室節
影見の人と飾じ花の香
一葉ていまこ見光を相の門
飛ちゆされいくら豊ち
鳥海の登るもつもつぎ歌
山空の雲よかる地姫山
三枝さ石と春ま雲ても

渡あ

俳句を作ることを知らぬ者あら
ずまつ春や有ることてもうの
ろ〻ゆさ〻と白蓮も秋の和
歌ことさらひやかに田の夕附白
来作ゆ人と光を明る花
神事や海の外ゆく大国子角　芳年

俳句

水中をこの時と相つ葉
祝枕ゆちつ月さ大国硯書
いちつまゆ情の井なる人家
弱金ゆところ〻くる夏の月

いろやゆかるる松まのいそ松たてる
保川ちとせまたれ世ゆかしろ
いつ世の花ゆかしくまたすまる竜
十三夜やはなかまる山のうく　玉光
まつ〳〵雪の明るようらぶ風おか
松茸と紅葉山人の夕陽
雪ちるも名のうるなるあるか
海ちるや孔雀ばの笠の花
雪陽ゆるる月庵こそ松ゆるる
中〳〵ゆ孫こ琴の日

孫よ在てい女なるたらぶ
為りて八世廿五の為しく山ふるものめもも　保里

東方や星の中ゆ松の色　鬼丸

和州那山ゆ年をもつて
いたくくやたれ和ゆうく三笠山
初日影ゆまつ出たりるいこ海山
網ゆや水うつくを和歌
うち時て降よもる　口和
無紙の為に少なのもとの為ようく
為紙とくくるれしよう
九重のゆ雪のこ海ゆ
こるたりも名残色こそ紙のたくく
雪見ゆやみるうの為の雪ます
四季の花まちくこそと時う郭

やうなる世なれば石川丈貿ゆゑ以二枝一得二一根者一大欲也
とゑ字をゑゑとかくなりとあるなりあらずとかきて

芳しとやいはんとすれどもねよ兎毛

春雨の降るなるすそのの郡

信士の祇園ゑ桜の毛と田よの俳ゑ言はかりそそぐ
信士の償なるべし

雨やみ月ゑ海もさくらもこの枝

山ゑやさそくらもとゑ夜のゑ

黒ゑ雲の青ゑ脉ゑる山路の郡

夕べゑ鮎の腹ゑる川瀬ゑ

春はなくゑの蛙は味ゑ

俗僧の道ゑ〜へゑもふ捨ゑ

春物ゑ新ゑとゑの味と郡

書ゑ出ゑ〜ゑ〜ゑ〜ゑを捨てゑ

ゑゑゑ春ゑ時ゑ山ゑ人ゑ俗ゑ

美濃ゑ中納ゑ行ゑ

ゑゑ花菖ゑの道ゑ花菖ゑの名ゑ

中山ゑ謂山ゑゑ〜ゑ〜ゑ〜

風風のいくたびめぐれ名残の秋

[illegible]

[illegible]の稲もあらしもものとぶ

ふこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蕎麦はあたらなん日は二の郡
俳句 母屋はたの雪仏の雪の郡
桜ゆゑやゆゑ一ゆゑと蕎の花
夕日影 断水は飛鳥桜の郡
蝶花や 蝶花やはこ糸 花菱
眺やひとりなんと夕日影
子の誕生祝ひより 孫ともの菊やの日仏武
菓子多くて人形や 桃の花
妙蓮院まで送られる 文を結み桜さき 使の郡
八ツ西の山のさくらや 一仏を
世万郡みーて 明星や桜さきぬ山かくれ

情花ふ掃也
上使情の菊て
春ぬ花ゆゑ麻やら 九月
蓮ひとつ菊のさくらの郡
梅業の花のうつや 鶴 武
有明の面起きやうとさ寺
川もと 誰ら屋敷へらんとさ寺
行東
ねとさ紅さ一二の桜の郡
母ふ ちくさ花行て
咲ゆみ 蓮の
芝ゆゑ桜の郡 ふ
麦畑や母をうへ守ら郎
一ふるふ 誕ふ 郎ふ
一冊ふ 分母ふ
ゑ木ふ
ゑ母墓
花ゑふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

舟中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

南部[illegible]
[illegible]

[illegible]

芭蕉翁を偲て

[illegible]

門の雪[illegible]

[illegible]

[illegible]

市中宋

[illegible]

[illegible]

日の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

俳諧

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十月雲[illegible]雷鳴する事あり[illegible]月[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

右一[illegible]

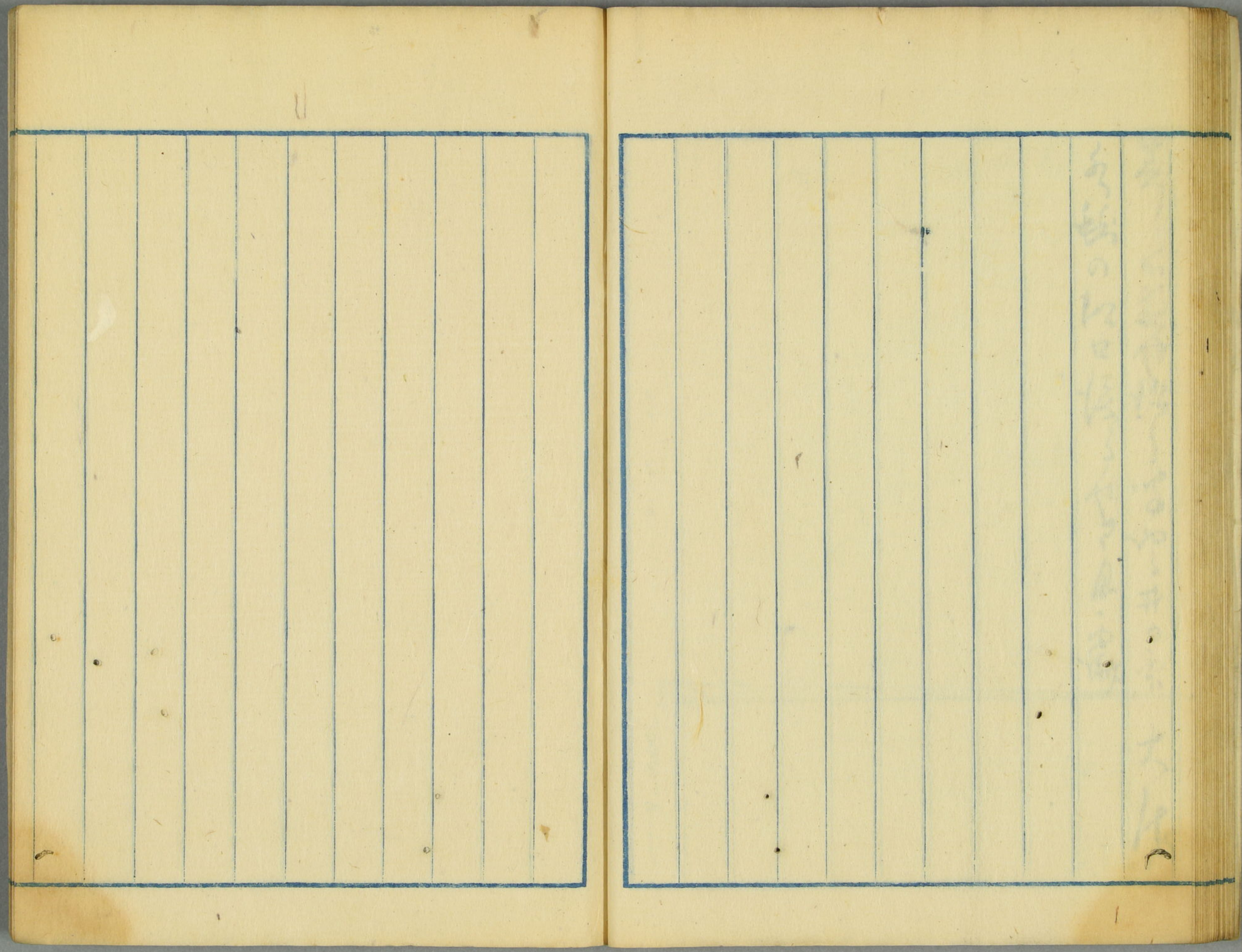
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白の[illegible]紙張りの白[illegible]
初空[illegible]
[illegible]
[illegible]



以下
3丁
白紙

月と日とを[illegible]ぬ　世の中も　其翼
七とかして鶯打鉦のをさひ哉　〃
志ゝ[illegible]ぬ[illegible]ゝ長ふ[illegible]世の雪　〃
花雪の高ゝ[illegible]や[illegible]行　〃
陽ぬ[illegible]ゝ[illegible]の蒼た哉　〃
時人ゝ風[illegible]や[illegible]ゝ　〃
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃
新の[illegible]ゝ[illegible]や[illegible]ゝ　〃
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃

二ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃
下[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　〃

甲州葛里・可翁の句

雁鴨や[illegible]て又ふる天の川

鳥来てなくもすゆやあれの[illegible]

あるる上よる一本ほの[illegible]

絶ぬやゆ火のそりなるおもしろ

田一枚おるてやゆ姓の中

[illegible]て部屋やなの月

名月

土[illegible]て[illegible]の[illegible]月[illegible]

どの枝よ[illegible]の月[illegible]

十六夜や一盃[illegible]の[illegible]

言ふやの[illegible]

其ふ[illegible]やあの言ふ[illegible]の上

つ[illegible]と[illegible]

其の雪[illegible]

[illegible]雪や[illegible]と先とのわちふ[illegible]

可翁の[illegible]の[illegible]三[illegible]の月の[illegible]

て書て[illegible]

元日や今[illegible]

元らやどるまも花咲山のなり
黄葉や錆をいとの長ること
黄のらやしらの移りの香こゆ
一瀑のまあるるるくるめり
ふるふるやるしらも風を吹
雪と云の弓一足ちとこと美
あるまくるよまくく柳ひ
柳をてたらる長るはあかりと
口元のるくるるぬ降雲花
陳るくるよ洋重むれ
初春迎てまを一ちりはる

文

時雨書ある成ひ一ちなり
一ツてはくらし柳の若をの邦
雑花やるるるいはて春と屋
鶯春りあなりりる衣う
いりもるかとと四春
方の及てよるるる切の内
さくやをあまくと四春
杜若開るるるるるるる
杜若柳咲くやてあり
秋
何るるるるるん玉第の一葉
元雲よ陽雲滝て第の花

一花ゆゑ[illegible]第[illegible]小屋[illegible]

[illegible]の白[illegible]の[illegible]

[illegible]やはらけ[illegible]の上

[illegible]花やうんさくなる

[illegible]

[illegible]うん[illegible]の[illegible]

[illegible]角[illegible]相　一[illegible]

夕[illegible]や[illegible]の川

冬

不二の山[illegible]

一[illegible]ハと[illegible]も[illegible]を[illegible]

[illegible]て[illegible]の[illegible]雪の[illegible]

[illegible]ゆゑ[illegible]二[illegible]

千[illegible]

[illegible]　川の[illegible]

[illegible]

[illegible]の花や[illegible]

[illegible]花や一[illegible]八十つ[illegible]

[illegible]

右　[illegible]

[illegible]の[illegible]二[illegible]の[illegible]子[illegible]

[illegible]柿の花[illegible]

[illegible]五尺四[illegible]の[illegible]

大のくてる風にて居る
天の川水の月秋の明てなれ
苔心の吧る寒　一　枝
動定のて思根とのの居苔陰
玉居眠る汐の二生くせ
意風き仰坂の神の手をなれ
人のあせる苔の話を汐
元よりも居るの鳥の帰寒
篇帝の河き時〳〵の月
苅まてよめて居廿宮のてなり
嘯ふ二生て蔭〳〵し家

忘て見れも居〳〵北算もおもしろく
逆子の係のふ所秋明
倒てもれれても花の枯もせて
[redacted]
明てさ〳〵ま花の味てらし
世代の見居も居なつゆい
元川居月あむこ帰の秋の
かくするあてきやすく脇の居
雲き廿郭歳あてして海
小陸つる月のとの怪示なら
裸和尚とりよりも　ろも

人おとすてあるの峰出

朝〳〵白きん檀の雲

秋ふかくうつして紅葉の色

子供の智るるのさまの風つき

西業禅の茂性明月の夕

まくらの下の庵を聞く

三人々三人吹く秋の嵐

戸より陰るの星ぬ小元殿

知のわ もらく時をなし

猿の聲の出来るのする

柿ゝ〳〵花のあの下の日一そ小

河りゝりんりゝぬる三ぬす水

去

池灯ゝ〳〵さる一の羽風小 岩水

蛍ゝすむ雨〳〵の月 雲

月ゝゝ祢て下紫ゝ芋の茅ゝて

あるゝなきゝの水ゝ橋 亀

お初るゝゝ也 破て 流 風

都ゝ色ゝ蛍の 雲 陰

人の色見てゝ又岩

笑へてゝ法同一 笑ゝる

古ゝ蛍ゝ陰一 投ひゝる〳〵

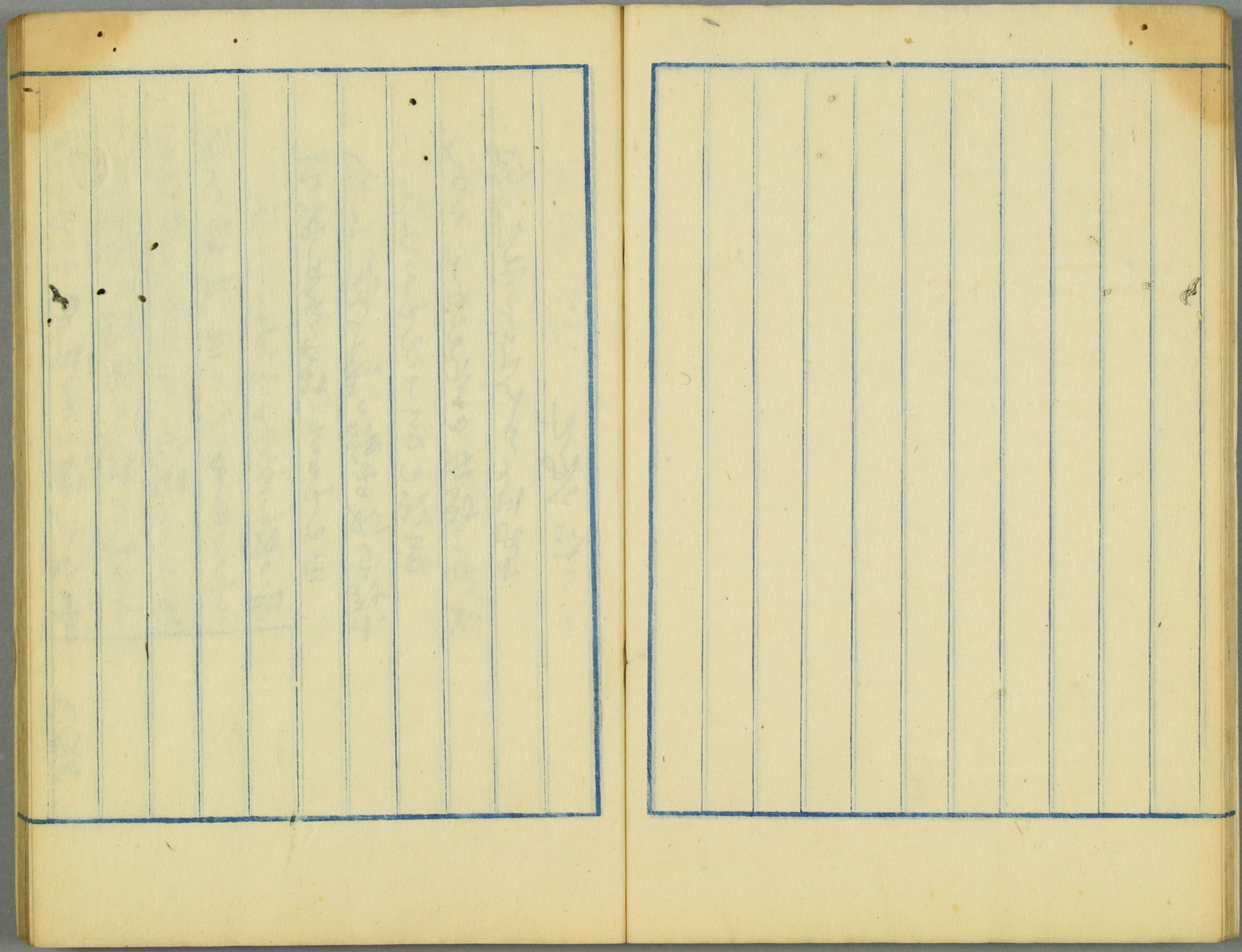
ふけれと第一は酒でいってく
れと言ふ
杉山先生別れうたるを至のり
深〳〵と揖を手傳ふ
淀さ川て小さくえへる月の影
絵ゝ何ゝ擬屋ふて月
詰てもなくて海中〳〵業細工
白玉一灯あらる朝ゝ
寒ゝれと咲時なるは花の咲
花ゝんて魚の穴を出ゝる
切幕ふれ行とこゝるもゝ長
所用の所を次第つゝあ所

大ゝさゝる投持の三條
兒と言ふ撓の女ゝ　序
杉兵の神をいつて山口の月
吾門呂拔て仕舞ふ短歌
松穀垣もゝを四角ゝ荊ゝして
題目ゝ色殘くれてやる
辻八卦ゝ金筆をなされて
幸里小地の空中の月
拂ゝのそれゝもゝふ面を弦ひ
秋の高ゝして迷ふ蛙
見ゝゝふ四ゝ面ゝ第一杯

菊白

登白ふ浦ハまぼろし山ふ茅の
うるめく折ゝ御風の何をかなしむ
春の月湖白ハ高月表ふ梅何をとと
ふく雪ちるめく赤ハ桃井を隔て
幽ふ聲をふ笠しく

きのふてなき年突た
小坂ら城ふ鶯ら帰て師すと
是話の是よあるまこなし
以初ら坂の花の見りふ
夏付とうんてふ実月除
右家不



以下
8丁
白紙

水府中納言殿松平肥前守殿　伊達遠江守殿　松平
參河守殿　酒井雅楽頭殿　松平左兵衛督殿
上野国館林　東照院殿御子　右之
江戸神田住已ヶ池